

令和 2年度

事務事業評価表 ( 令和元年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 2 年 4 月 21 日

事務事業名	日本下水道協会参画事業		事業区分		担当	
			新規/継続	継続	事務事業No.	050501000113
			単独/補助	単独		070101
政策体系	政策体系上の位置付け				所属課	下水道課
総合計画の施策名	0505	下水道の整備			課長名	
政策名	05	快適な暮らしのまちづくり			グループ	下水道G
施策名	05	下水道の整備			担当者名	
手段名	01	①下水道の接続と浄化槽の設置				
	財務会計上の位置付け		事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業細	公共下水道事業特別会計
	05	01	01	01	02	00
法令根拠						公共下水道総務事業
						単年度繰返し (平成17年度~)
						→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
協会活動の内容は下水道事業を実施している地方公共団体を正会員とし、下水道の普及を図り、公共用水域の水質保全に資し、生活の向上に寄与することを目的として活動している。 事業内容 ①下水道に関する経営及び技術の調査 ②下水道の管路資器材の規格制定並びに検査及び品質認証 ③下水道事業者が使用するJIS製品の認証事業 ④下水道事業の財源確保及び施策実現の要望 ⑤下水道に関する広報資料の発行 ⑥下水道新技術の紹介及び一般市民に対する下水道の啓発を図る ⑦下水道技術、経営及び行財政の情報を掲載した下水道協会誌の発行 ⑧下水道新規職員の養成及び中堅職員・管理職員を対象とした技術及び経営に関する研修会の開催等	負担金の納付 情報提供を受ける 研修会への出席

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
下水道事業に関する経営及び技術の調査・情報の掲載・広報資料の発行・職員の養成研修会参加について。	研修会開催回数	回	5.00	0.00	3.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
下水道担当職員	下水道課職員数 (公下関係職員)	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
情報提供を受ける 研修会に参加して知識を身につける。	研修会に参加した職員数	人	2.00	0.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	30年度	01年度	02年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	53	53	53	0
	事業費計 (A)	千円	53	53	53	0
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
	19 負担金補助及び交付金	53		19 負担金補助及び交付金
	合計	53	合計	53

事務事業名	日本下水道協会参画事業	事務事業No.	50501000113	所属課	下水道課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 下水道事業開始当初から、事業運営のための先進技術や経営の手法等の情報の提供を受けるため協会に加入している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 下水道事業を推進するためには、事業経営手法や管渠整備の技術について情報を得ることは必要である。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市で実施する公共下水道事業についての情報を得られ妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 下水道協会主催の研修会への市の職員参加機会はさらに増やす必要があるが、職員が多忙のために参加できないことが多い。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 協会を脱会した場合、研修会や各種資料の提供を受ける機会が失われる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 他に下水道事業団と同様のことを行っているが、研修費や機関紙等の負担金が高額である。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 市の下水道事業費に基づいて毎年負担金額が決定されるため、負担金額を削減することができない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 事業が研修会の参加や機関紙・研究発表の購読だけなので、人件費の削減はない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																			
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	下水道協会主催の研修会や経営の手法等の情報提供なので現状維持である。研修会や研究発表会が遠方の開催地なので、なかなか参加することができない。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○						
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○																		
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="radio"/>																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>